恒志堂
「スペチアーレ伏見」のオープニング・レセプションを開催

不動産賃貸業を行う恒志堂は、同社事務所スペースやカフェ・スペースが入った賃貸マンション「スペチアーレ伏見」（札幌市中央区）をこのほど完成させ、オープニング・レセプションを八月三十一日に開催した。

同物件は、RC造十階建てで、一階は同社事務所スペースやカフェ・スペースが入り、二階以上は賃貸マンションとなっている。間取りは1KDLから3LDKが十六室ずつ、4LDKが三室となっている。

オール都市ガス物件でエコジョーズが導入され、オートロック、トランクルーム、屋根付き駐輪場、宅配ボックス、ロードヒーティング、バルコニー、防犯カメラなど、入居者のニーズが高い設備が全て備わっている。

また、同物件の目玉は、同社社長の佐藤元春氏がコレクションとして所有するフェラーリF430やポルシェGT3などのスーパーカー五台（新車価格で総額1億円）を展示するスペースを一階に設け、エントランスやカフェ・スペース、同社事務所スペースからそれらを鑑賞することができることだ。

八月三十一日に開催されたオープニング・レセプションには、佐藤社長と親交の深い不動産賃貸業者やスーパーカー仲間などが駆けつけ、同物件の駐車場には三十台ものスーパーカーが並べられた。

そして、世界的な和太鼓演奏家である木村善幸氏が和太鼓を演奏する中、ニューヨーク在住の書家である八戸香太郎氏が筆で「跳馬」と書くパフォーマンスを行い、参加者から大きな拍手が起こっていた。

NICHIDO
イエステーションネットワーク
イエイパーク